北海道の体育

体研連ミニ広報

No. ２

令和３年10月15日

１０月７日（木）令和３年度 全道代表者研修会 開催

令和３年１０月７日（木）に、北海道学校体育研究連盟の『令和３年度　全道代表者研修会』が開催されました。例年、北海道学校体育研究大会の前日に開催地で行っています。しかし、今年度はコロナ禍であるため、第５７回北海道学校体育研究大会札幌大会の授業撮影日前日となりました。札幌市立幌南小学校をキー・ステーションとして、ＷＥＢ会議（Zoom）により実施しました。

以下、会次第に沿って概要をお伝えします。

【出席者】２８名（以下、敬称略）

①旭川：井上、中山　**②渡島**：西田、溝口　**③小樽**：諸澤　**④オホーツク**：緒方、木村
⑤上川：中間、土屋、瀬戸　**⑥釧路**：中村、山本　**⑦札幌**：四戸、千葉　**⑧後志**：渡邉、田口
⑨十勝：廣瀬　**⑩函館**：新谷、一戸　**⑪檜山**：皆川、西村　**⑫留萌**：亀田、古岡　**⑬宗谷**：松本
〇委員長：大牧　**〇事務局長**：嶋本　**〇事務局次長**：秀島、髙橋

Ⅰ　開会　16:02

Ⅱ　委員長挨拶　〔委員長　大牧　眞一〕

・皆様の御参加に心から感謝申し上げる。第５７回北海道学校体育研究大会札幌大会が明日の授業日と、年明け１月の協議日に分けて開催される。札幌支部の御尽力に感謝申し上げる。本日は、札幌大会への多数の参加により、大会の成功につなげたい強い思いで開催した。WEB での開催ではあるが、皆の思いや願いが共有されることを願う。宗谷支部の加盟を調整中。来年度４月の定期総会にてお諮りしたい。本日はオブザーバー参加を願った。後ほど御紹介する。

Ⅲ　事務局より　〔事務局長　嶋本　剛〕

・宗谷保健体育教育研究会（宗谷支部）からの加盟申請について
・全国優良校、功労者表彰について
　→受賞者代表　四戸　基樹　校長より御挨拶
・第５７回北海道学校体育研究大会札幌大会の会費について
・「北海道学校体育研究連盟２０年誌・外史」作成について

札幌市立幌南小学校の様子

Ⅳ　北海道学校体育研究大会（札幌大会）について　〔札幌支部　千葉　事務局長（本連盟　理事)〕

・本日、札幌大会２次案内を用意した。各支部に広めていただき、多くの方が参加してくださることを期待している。よろしくお願いしたい。　※詳細については、『２次案内』参照のこと

Ⅴ　各支部交流

①旭川：研究の歩みを止めないために、研究発表、授業動画視聴、交流を行っていく。新しくなった全道統一研究主題にあわせて、本支部の研究主題の刷新を考えている。

②渡島：１人１台端末を活用した授業動画を視聴し交流した。学習カードからグーグルシートへ移行し、クラスルームで手本となる動きを視聴できるようにするなど、グーグルドライブに実践資料を蓄積していく。

③小樽：活動が半年遅れでスタートした。今後、研修会、講習会を行う予定である。研修機会が少なく若手教員の困りに応えきれていない。そこを補う意味でも、札幌大会の参加を考えている。

④オホーツク：昨年度の全道大会中止への御理解に感謝している。教育局とのタイアップにより１人１台端末の活用を図っている。そのために運動量が少なくなることは避けたい。技能面が劣る子でも輝ける体育授業を追求していく。評価についても研究していきたい。

⑤上川：来年度１０月２８日（金）に上川大会開催を予定している。今年度はプレ大会として授業動画を視聴し、オンラインで研究討議を行った。４名の授業者が決まった。新しい研究テーマを設定し、準備を進めていく。

⑥釧路：子ども同士、子どもと運動、子どもと教師が『つながる』ことを目指す。オンラインでつながり、各関係者・各機関とのつながりも大切にし、日常の環境整備を行っていく。

⑦札幌：北海道学校体育研究大会札幌大会に向けて、密集や接触を避ける観点で準備を行ってきた。大会で動画公開する授業づくりでも様々な工夫をして行ってきた。皆様の御参加を願う。

⑧後志：昨年度、加盟した。体制づくりと会員の拡大を目指す。共有される資料を活用している。誰でもできる体育授業、無理なく続けられる体育授業づくりと情報発信を目指す。

⑨十勝：コロナ禍のため、活動休止状態であった。今後、授業公開、交流を行いたい。２年後に十勝大会を控えている。準備を整えていきたい。共有される資料を地域に広げている。

⑩函館：７月１６日（金）に附属函館小学校にて授業公開を行った。授業づくりを通して、タブレットの活用を考えた。動きを見て次に生かす、チームづくりに生かすなどの活用を目指す。

⑪檜山：活動休止状態である。指導案を持ち寄って実践研究、動画による実践交流、タブレットの有効的活用を取り入れた授業を行っていく。オンラインでのつながりも大切にしていく。

⑫留萌：来月、集合して座談会形式でゼミナールを行う。そこでは、会員の相互交流とともに、若手教員の育成を図っていく。冬には、スキー研修を予定している。

⑬宗谷：４５名の保健体育部員による研究を行ってきた。広域であるため、交流が難しかった。オンラインを活用して活動してきたい。先日、総会において、来年度からの加盟が承認された。

ＷＥＢ会議システム（Zoom）画面より

Ⅵ　各部より連絡

①総務部…各支部での組織強化と会員拡大のお願い〔事務局次長　髙橋〕

②庶務部…業務計画を粛々と遂行〔事務局次長　髙橋〕

③研究部…第 31 回全道研究担当者研修会の開催について〔事務局次長　秀島〕

④広報部…機関紙「体育研究」編集に関わって、各支部の取組執筆協力のお礼と次号執筆でのお願い〔事務局長　嶋本〕

⑤会計部…会費納入のお礼とお願い〔事務局長　嶋本〕

※今回は Zoom による開催だったが、今後は Google Meet の活用も考えたい。〔事務局長　嶋本〕

Ⅶ　副委員長挨拶〔副委員長　亀田　寛人（留萌支部長）〕

・本日の研修会において、各支部が尽力されていることがわかった。常に子どもと向き合うことを大切に、これからの社会で輝くことができる力を育む体育学習を目指していきたい。札幌大会が大切な場となる。期待を寄せている。

Ⅷ　閉会 17:12

・全道大会札幌大会は、１１月１２日（金）締め切り。多数の御参加を。

（文責：事務局次長　髙橋　直之）